



医療法人社団仁泉会

としま昭和病院

仁泉会だより

てとて

te to te

第8号

[2020年10月]

笑

顔の生活のため
に何が出来るか

私が医療に興味を持ったのは中学時代に祖父母が入院して元気になった姿を見て「すごい」と思ったことがきっかけです。

また小学校から大学まで硬式野球に打ち込み、周りの友人たちが怪我で野球から遠ざかっていくのを残念な気持ちで見えていました。整形外科を選んだのはこうした経験と、医学部

の実習で患者さんが明るく元気に退院するのを見て、自分も患者さんを元気に家族の元へ帰す手助けをしたいと思うようになりました。

研修医の頃はとても忙しく、24時間オンコールで休みや夜中でも関係なく呼び出されることが当たり前でした。救急は激しい痛みを伴うことが多く、目の前で苦しんでいる患者さんに「何が出来るか」を考え、専門分野など関係なく痛みの原因をいち早く特定できる知識を学ぶ毎日でした。こ

インタビュー

医師／本間 隆之

生活への思いを探る。

うした経験から判断力や応用力を身に付けることができたと思います。

としま昭和病院で働き始めたのは今から16年ほど前、当時の小島院長が大学の先輩ということもあり非常勤として外来を担当することになりました。この地域は高齢者の方が多く、近年では骨粗鬆症の患者さんが増えてきたように感じます。特に女性の方で「怪我をしてないのに腰が痛い」と生活に支障がでる状態で病院に来られる方もいらっしゃいます。

骨粗鬆症は予防がとても大切です。また薬やリハビリだけでなく、栄養管理や普段の生活環境も重要な要素の一つです。一旦寝たきりになってしまうと急激に筋力が低下し、本人のみならず家族の生活も大きく変わってしまいます。

患者さんの生活は家族を含んだ日常です。一人一人は考え方や生活環境が違うことを忘れず、それぞれに合った細かい治療を提供できたらと思います。



「元気の素」になるお役立ち情報
ハートネット連載

今回のテーマ

食べ物を飲み込む働き(嚥下機能)



高齢者や寝たきりの方に多い嚥下機能の低下

食べ物を飲み込む働きを嚥下(えんげ)機能といいます。

この機能が低下すると、口から食道へ入るべきものが気管に入ってしまう誤嚥(ごえん)を起こし、一緒に細菌が入り込むことで**誤嚥性肺炎を発症**します。

嚥下内視鏡検査／嚥下造影検査

嚥下内視鏡検査は鼻から内視鏡を挿入し、食べ物の飲み込む様子を直接観察することで**粘膜や唾液の状態まで評価**できます。

嚥下造影検査は食べ物を飲み込む様子をX線で撮影することで、**嚥下機能全体の動きを観察**するのに有用な検査です。



嚥下内視鏡検査

※ 検査の結果から安全に食事をするための工夫(①食事形態、②姿勢、③介助方法)を指導することができます。



毎日の食事は楽しみの一つ

高齢者や寝たきりの方にとって食事は大切な楽しみの一つ！
また口から美味しく食べることは**健康維持・増進**に繋がります。



ハートネット相談窓口

電話: 03-3953-5555 (代表)

受付: (平日) 9:00 ~ 17:00

「医療相談」とお申し付けください。

先生
紹介



相談しやすいお医者さん
として、力になればと
思います。

山田 武 医師

プロフィール

久留米大学 医学部卒

【先生からのコメント】

大学病院では、重い肺気腫や肺がん、喘息や生活習慣病などを中心にたくさん治療してきました。
としま昭和病院では、その経験をもとに地域の皆様が重い病気にならず、長く元気に過ごせるよう、治療や指導を行い、相談しやすいお医者さんとして力になればと思います。

出身: 熊本県 | 星座: 魚座 | 血液型: O型

豊島区だよ！

令和2年度高齢者インフルエンザ予防接種

接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5ヶ月間とされています。

今年度のみ豊島区在住の65歳以上の方は全員無料です。

(詳細は豊島区ホームページを参照ください)

豊島区ホームページより

ご意見・ご要望などございましたら、
スタッフまで気軽にお声掛けください！



医療法人社団仁泉会

としま昭和病院

〒171-0052 東京都豊島区南長崎5-17-9

☎ 03-3953-5555